

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年02月20日

計画の名称	寝屋川市公共下水道の整備（その2）（重点計画）（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	寝屋川市												
計画の目標	本市は平成24年8月14日豪雨被害を受けて実施してきた、公共下水道事業の古川雨水幹線整備事業および高宮ポンプ場の整備を浸水対策として引き続き実施します。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	9,541	A	9,541	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)
1	雨水整備をすすめ、雨水浸水対策を進める。 雨水対策整備率 雨水対策整備面積（ha） / 雨水対策計画面積（ha）	33%	%	34%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	寝屋川市	直接	寝屋川市	ポンプ場	新設	高宮ポンプ場事業	雨水ポンプ場建設 雨水管渠	寝屋川市						7,463	-	
	A07-002	下水道	一般	寝屋川市	直接	寝屋川市	管渠(雨水)	新設	古川バイパス管事業	雨水管渠	寝屋川市							1,717	-
	A07-003	下水道	一般	寝屋川市	直接	寝屋川市	管渠(雨水)	新設	東神田分区整備事業	内水対策 雨水管渠	寝屋川市							250	-
	A07-004	下水道	一般	寝屋川市	直接	寝屋川市	管渠(雨水)	新設	大利雨水管事業	内水対策 雨水管渠工事 実施設計	寝屋川市							111	-
											小計							9,541	
											合計							9,541	

事後評価

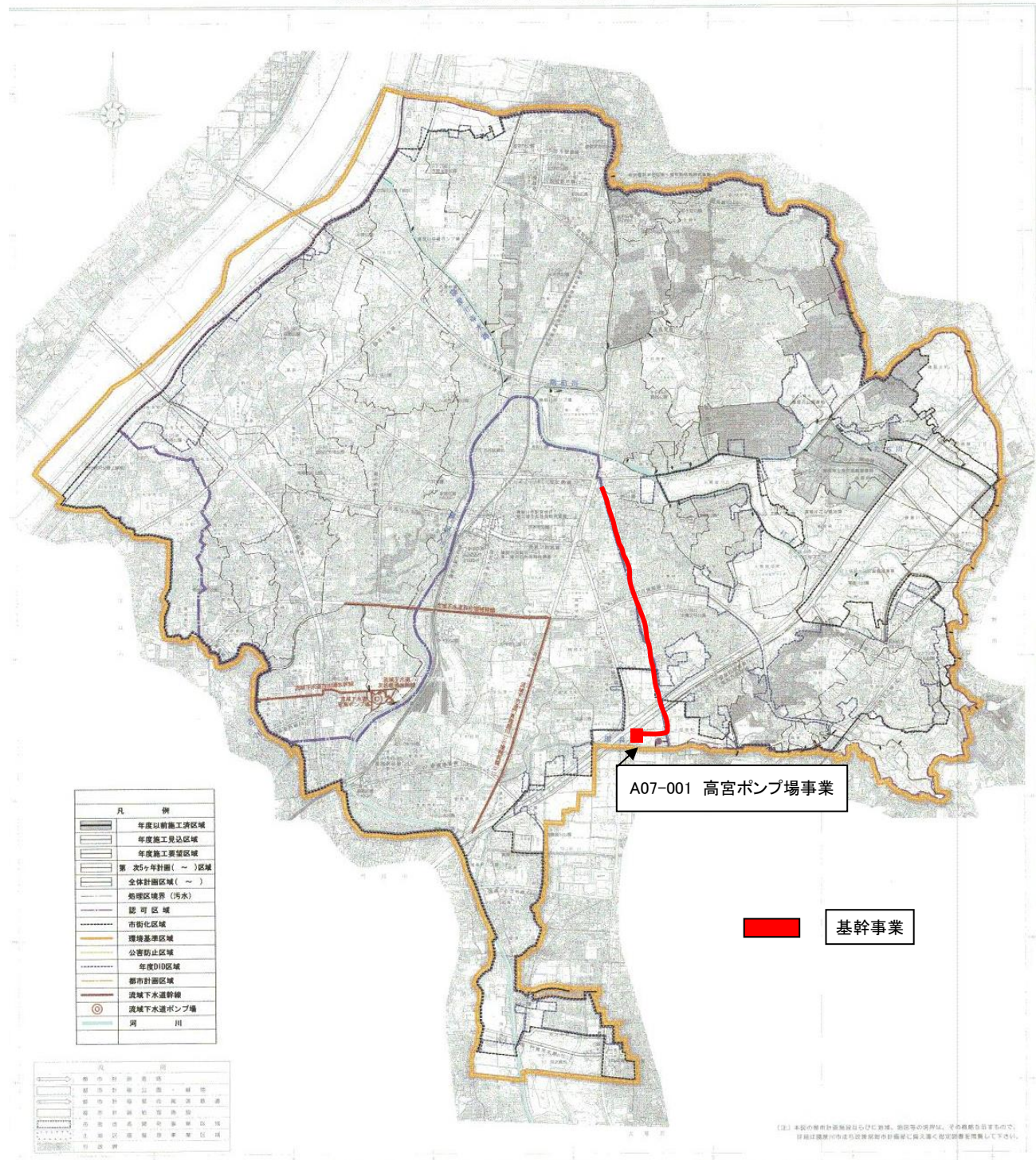
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
寢屋川市上下水道局において、評価を実施し、有識者への個別ヒアリングで意見を求めた。	令和6年1月
	公表の方法 寢屋川市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	高宮ポンプ場の整備が完了したことにより、浸水被害の軽減が図れた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
浸水対策として、公共下水道事業の整備を引き続き実施します。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	34	
	最終目標値	34%
	最終実績値	34%

(参考様式3)

計画の名称	寝屋川市公共下水道の整備(その2) (重点計画) (防災・安全)		
計画の期間	平成30年度 ~ 令和4年度 (5年間)	交付対象	寝屋川市

寝屋川都市計画下水道図 (雨水)



社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年02月20日

計画の名称	寝屋川市公共下水道の整備（その2）（防災・安全）											
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	寝屋川市											
計画の目標	公共下水道施設の計画的、効率的な維持管理を進めるため、ストックマネジメント実施方針に基づく計画を策定したうえで、木田地区及び本町・黒原地区における長寿命化事業や南前川ポンプ場の計画的な改築更新を進めます。 また、大規模な地震時でも、下水道の有すべき機能を維持するため、下水道施設の地震対策に関する下水道総合地震対策計画を策定します。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	460	A	460	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (R4末)
1	ストックマネジメント実施方針に基づき計画を定める。 ストックマネジメント実施方針（計画）策定率 実施方針策定計画面積（ha）/事業計画区域面積（ha）	0%	100%	100%
2	計画期間内に予定している管渠の改築更新率を0%(H31)から100%(R4)に完了させる。 計画期間内に予定している管渠の改築更新率(%) 計画期間内の改築更新済管渠延長(m)/計画期間内の改築更新管渠延長(m) 計画期間内の改築更新管渠延長:L=1,435m	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
寝屋川市上下水道局において、評価を実施し、有識者への個別ヒアリングで意見を求めた。	令和6年1月
	公表の方法 寝屋川市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	公共下水道施設の計画的、効率的な維持管理を進めるため、ストックマネジメント実施方針に基づく計画を策定し、木田地区において、計画的な改築更新を進めることができなかった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	大規模な地震時でも、下水道の有すべき機能を維持するため、下水道施設の地震対策に関する下水道総合地震対策計画を策定した。
特記事項（今後の方針等）	
今後もストックマネジメント計画に基づき、萱島地区及び木田元宮地区における管路の改築更新を計画的に行う。また、下水道総合地震対策計画に基づき、管路施設の耐震診断を実施し、要求される耐震性能が不足する管渠に対して耐震対策を実施する。	



目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	100	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	100	
	最終目標値	100%
	最終実績値	1%

ストックマネジメント実施方針及び耐用年数等を加味して改築更新計画を再検討したことから、当初計画の目標値を達成できなかった。

